

Ⅲ 環境教育活動の実施

1 環境教育の手法

赤谷センターが児童生徒に対して実施する環境教育の手法として次のプログラムがあります。学校の要望を聞きつつ、適宜組み合わせて実施しています。

(1) 野生動物の行動調査の実習

「赤谷の森」に設置した、動物の体温を感知してシャッターが切れるカメラ（センサーカメラ）で撮影した写真を見せながら、野生動物の行動、森林と野生動物との関わりを解説しています。



撮影された写真の解説

また、センサーカメラの使用方法を教えたのち、1班に1台のセンサーカメラを野生動物が現れそうだと考えたところへ設置してもらいました。

後日、フィルムを現像しコメントと共に学校へ郵送しています。



センサーカメラに写ったアナグマ

(2) 自然観察路等を活用した自然観察

「いきもの村」に整備された1.3kmの自然観察路やエリア2に位置する小出俣林道を活用した自然観察を実施しました。歩きながら、樹木、植物、野生動物の痕跡等について見るだけでなく、においのかいだり、手でさわるなどの五感を使って自然を学んでもらいます。



近くでよく見て学習

(3) 観察器具を使用した野鳥観察

観察器具を使用した野鳥観察ですが、「いきもの村」では、シジュウカラ、ヒヨドリなどの小鳥から、クマタカ、オオタカなどの猛禽類までいろいろな野鳥を観察することができます。双眼鏡とフィールドスコープにより、野外で実際に観察をしてもらいます。



フィールドスコープを使った野鳥観察

(4) 赤谷プロジェクトの説明

赤谷プロジェクトの様々な調査研究等の取組みについて知ってもらうため、プロジェクトによる映像や小屋の内部に設けた展示スペースなどを活用してプロジェクトの紹介を実施しています。



赤谷プロジェクトの説明

(5) その他

いきもの村周辺の散策をしながら植物の説明をしたあと、しおり（押し葉）作りを実施しています。



いきもの村周辺の解説